

26. 5. / 5

# 庄内川きれいだね

## 明和小児童 水辺を調査

都市市・明和小6年生69人による川辺の環境調査「身近な水環境に関する学習会」（県など主催）は、同市に隣接する鹿児島県曾於市財部町の大淀川支流・庄内川でこのほどあった。児童らは水質検査や水生生物採取を通して川に親しんだ。

児童らは事前に教室で大淀川の水質や下水道、浄化槽の役割などを学んでおり、現地調査では水の透明度や水質を確認したり、においを嗅いだりして川の環境を体感。浅瀬に入ると、石の下などに潜むカゲロウやカワゲラの幼虫などを網や素手で集めた。初めて見る生物に大騒ぎしながらも、班ごとに生物の名前や数を調べて生息状況を記録していった。

同じ班の8人と協力して6種約40匹の生物を集めていた

※

庄内川で水生生物を夢中で探す明和小の6年生ら

※

宮里菜々子さん(11)は「こんなにたくさんのお虫がいるとは思わなかった。きれいな川にまた来たい」と笑顔で話していた。児童らは今後、学習成果をポスターにまとめる予定という。

この学習会は大淀川流域の小学校を対象に2011年度から実施。本年度は同校など県内5校が対象になっている。

